

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 事業実施状況・効果検証シート

| No. | 事業名 | 事業概要 | 総事業費 | 臨時交付金充当額 | 事業始期 | 事業終期 | 実績 | 効果 | 担当課 |
|-----|--------------------------|--|-------------|------------|------|------|--|---|------------|
| 1 | 移住支援事業 | 新型コロナウイルスの影響により地方移住希望者が増加傾向にある中、和歌山県外から移住してきた方に対し支援を行うため、一定の条件を満たした場合に移住支援金を交付するもの。 | 9,700,000 | 9,700,000 | R3.4 | R5.3 | 【支給件数】 25件 (令和3年度執行分12件、令和4年度への繰越明許分13件) | 新型コロナウイルスの影響により地方移住希望者が増加傾向にある中、移住支援金が移住もしくは移住先選択の後押しとなり、移住定住の促進に繋がった。 | 移住定住戦略課 |
| 2 | 行政情報システム運営事業(情報ネット用パソコン) | 「新しい生活様式」実践に向け、Web会議機能(Webカメラ等)を有する情報ネット用パソコンを購入し、整備を行うもの。 | 99,335,511 | 99,335,511 | R3.4 | R4.1 | 【購入物品】 情報ネット用パソコン 747台 | 出先機関にwebカメラ付きパソコンを配布することにより、オンライン研修や会議に参加することが可能となり、行政のデジタル化及び感染症対策を図ることができた。 | デジタル推進課 |
| 3 | コロナ感染予防対策事業(各種手当) | 厳しい環境の中、新型コロナウイルス感染症に対応するための防疫等作業手当について、特殊勤務手当を増額するほか、新型コロナウイルス感染症対応に必要なとする時間外勤務手当等の各種手当を支給するもの。 | 108,857,745 | 29,884,266 | R3.4 | R4.3 | — | — | — |
| 4 | コロナウイルス感染状況等分析強化事業 | 新型コロナウイルス感染症への対策を多面的に強化するため、民間事業者が保有する位置情報等のビッグデータを活用するもの。 | 660,000 | 660,000 | R3.8 | R4.3 | システム使用料 660,000円 | 民間事業者が保有する位置情報等のビッグデータを活用し、コロナ禍における人流を分析することにより、コロナの影響を定量的に把握することができた。分析結果等については、コロナ関連の重要な政策の根拠やその後のフィードバックとして利用した。 | 企画政策課 |
| 5 | 避難場所整備事業 | 新型コロナウイルス感染症対策のため、避難所等にサーマルカメラを設置するもの。 | 6,291,450 | 6,291,450 | R3.6 | R3.9 | 【購入物品】 サーマルカメラ 93台 | 避難所での受付時に検温を簡素化し混雑が回避されたことで、感染症対策がより強化された。 | 総合防災課 |
| 6 | 博物館施設維持管理事業 | 新型コロナウイルス感染症対策のため、博物館にサーマルカメラを設置するもの。 | 67,650 | 67,650 | R3.6 | R3.9 | 【購入物品】 サーマルカメラ 1台 | 入館者へ検温を促し、高熱の方には入館を控えるよう案内できるようになったことで、感染症対策を図ることができた。 | 文化振興課(博物館) |
| 7 | 和歌山城ホール整備事業 | 新型コロナウイルス感染症対策のため、和歌山城ホールにサーマルカメラを設置するもの。 | 338,250 | 338,250 | R3.6 | R3.9 | 【購入物品】 サーマルカメラ 5台 | 入館者へ検温を促し、高熱の方には入館を控えるよう案内できるようになったことで、感染症対策を図ることができた。 | 文化振興課 |
| 8 | 和歌の浦アート・キューブ管理運営事業 | 新型コロナウイルス感染症対策のため、和歌の浦アート・キューブにサーマルカメラを設置するもの。 | 67,650 | 67,650 | R3.6 | R3.9 | 【購入物品】 サーマルカメラ 1台 | 入館者へ検温を促し、高熱の方には入館を控えるよう案内できるようになったことで、感染症対策を図ることができた。 | 文化振興課 |

| No. | 事業名 | 事業概要 | 総事業費 | 臨時交付金充当額 | 事業始期 | 事業終期 | 実績 | 効果 | 担当課 |
|-----|-------------------|--|-------------|-------------|------|-------|--|---|-----------|
| 9 | 体育館管理運営事業 | 新型コロナウイルス感染症対策のため、体育館にサーマルカメラを設置するもの。 | 202,950 | 202,950 | R3.6 | R3.9 | 【購入物品】 サーマルカメラ 3台 | 非接触で入館者の体温を検温し、高熱を検知した方には入館を控えるよう案内できるようになったことで、感染症対策を図ることができた。 | スポーツ振興課 |
| 10 | 市民温水プール管理運営事業 | 新型コロナウイルス感染症対策のため、市民温水プールにサーマルカメラを設置するもの。 | 67,650 | 67,650 | R3.6 | R3.9 | 【購入物品】 サーマルカメラ 1台 | 非接触で入館者の体温を検温し、高熱を検知した方には入館を控えるよう案内できるようになったことで、感染症対策を図ることができた。 | スポーツ振興課 |
| 11 | つつじが丘テニスコート管理運営事業 | 新型コロナウイルス感染症対策のため、つつじが丘テニスコートにサーマルカメラを設置するもの。 | 67,650 | 67,650 | R3.6 | R3.9 | 【購入物品】 サーマルカメラ 1台 | 非接触で入館者の体温を検温し、高熱を検知した方には入館を控えるよう案内できるようになったことで、感染症対策を図ることができた。 | スポーツ振興課 |
| 12 | 生活困窮者自立支援事業 | 新型コロナウイルス感染症の影響等により、経済的に困窮した女性らが生理用品を購入できない「生理の貧困」問題を解消することを目的として、生理用品の無償配布を行うもの。 | 762,000 | 762,000 | R3.7 | R4.3 | 【支給件数】 2,400件 | 生理用品の無償配布を行ったことで、新型コロナウイルス感染症の影響等により、経済的に困窮した女性らの「生理の貧困」問題解消に貢献した。 | 生活支援第2課 |
| 13 | 高齢者タクシー利用券交付事業 | 新型コロナウイルス感染症の影響等により、日常生活で不便が生じている高齢者（市内在住65歳以上）に対し、買い物や通院等に安心して外出してもらうため、交通機関であるタクシー利用時の補助を行うもの。 | 226,868,038 | 226,868,038 | R3.6 | R4.2 | 【配布人数】 112,878人 | 新型コロナウイルス感染症の感染が拡大する中で、外出に不安を感じ、感染リスクの高い高齢者が生活に必要な買い物や通院などの外出を支援することができた。 | 高齢者・地域福祉課 |
| 14 | 国民健康保険事業（繰出金） | 国民健康保険事業特別会計において、現在被用者に対して実施している傷病手当金の範囲を拡大し、事業所得がある被保険者にも一定の傷病手当金を支給するもの。 | 801,000 | 801,000 | R3.8 | R4.3 | 【支給件数】 25件 | 傷病手当金の対象を事業所得のある被保険者にも拡大することで、新型コロナウイルス感染症の感染時に休業しやすい環境を整備することができた。 | 国保年金課 |
| 15 | 乳幼児健康診査個別実施事業 | 健康診査時の3密を避けるため、4か月児及び10か月児の乳幼児健康診査を「集団健康診査」から「個別健康診査」へ切り替えて実施するもの。 | 27,857,390 | 27,857,390 | R3.4 | R4.3 | 【受診者数】 4,860人 98.8% | 4か月児及び10か月児の健康診査を個別に行うことで、3密を回避する等感染症対策を実施することができた。 | 地域保健課 |
| 16 | 動物愛護管理センター施設整備事業 | 新型コロナウイルス感染症患者の入院時、患者の飼育動物を一時保管するための環境整備を行うもの。 | 1,500,000 | 1,500,000 | R3.9 | R3.11 | 動物愛護管理センターの動物収容区画に、換気用窓を設置 (引違い窓 5か所) | 窓の設置により施設の換気能が向上し、新型コロナウイルス感染症患者の入院時に、患者の飼育動物を安全に一時保管することができた。 | 生活保健課 |

| No. | 事業名 | 事業概要 | 総事業費 | 臨時交付金充当額 | 事業始期 | 事業終期 | 実績 | 効果 | 担当課 |
|-----|---------------------------|--|------------|------------|------|------|---|---|-----------|
| 17 | 新興感染症等検査体制強化事業（高度安全実験室整備） | 衛生研究所に高度安全実験室を更新整備し、作業スペースの拡充等により、PCR検査等の迅速化及び強化を図るもの。 | 55,649,550 | 55,649,550 | R3.6 | R4.3 | 【検査件数】 13,460件（令和3年度） 8,817件（令和4年度） | 新型コロナウイルス感染症PCR検査を迅速かつ正確に実施することにより、感染の早期発見及びクラスター発生時の感染拡大の抑制に寄与することができた。 | 衛生研究所 |
| 18 | 和歌山市中小企業サポート補助事業 | 市内中小企業者等が事業継続のために行う既存事業の拡充・転換又は、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するための取組等に要する費用の一部を補助するもの。 | 83,431,000 | 83,431,000 | R3.6 | R4.3 | 【支給件数】 604件 | 1,730件の問い合わせがあり、604件の申請を受け付けた。多くの市内中小企業者等においては経営が不安定な中、コロナ対策も行わなければならない状況でニーズが高く、事業者の負担を軽減することができた。 | 商工振興課 |
| 19 | 和歌山市組合等経済活動促進事業 | 協同組合等の各種組合が実施する新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立を推進する事業に要する費用の一部を補助するもの。 | 1,958,000 | 1,958,000 | R3.6 | R4.3 | 【支給件数】 9件 | 組合を支援することで、共同事業や感染対策などを通じて組合員の生産性や効率性を向上させ、コロナ禍での社会経済活動の両立を推進させることを目指し、ひいては組合員である事業者の支援につなげた。 | 商工振興課 |
| 20 | 和歌山市レシートキャンペーンタイアップ事業 | 和歌山市チャレンジ新商品を景品として提供するなど、レシートキャンペーンを実施している事業者とタイアップすることで、地域経済の活性化を目指すもの。 | 6,718,790 | 6,718,790 | R3.7 | R4.3 | 【参加人数】 のべ約7,000人 | 1人あたり平均10,000円のレシートで応募していただいたため、少なくとも7,000万円の市内消費につながり、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い影響を受けた地域経済に対する消費喚起の後押しができた。 | 商工振興課 |
| 21 | 輸出チャレンジ支援事業 | 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた卸売事業者等を支援するとともに、変化している全国の輸出取引を本市場の販路とするため、農林水産物の輸出促進を行い、取扱量の向上を目指すもの。 | 450,000 | 450,000 | R3.6 | R4.3 | 【支給件数】 3件（水産1件、青果2件） | 市場に流通する農水産物の輸出に要する経費を補助し、今後の販路開拓に寄与することができた。 | 中央卸売市場 |
| 22 | 和歌山市宿泊促進事業 | コロナ禍で落ち込んだ観光需要の回復に向け、宿泊料金等の割引を支援するもの。 | 42,209,400 | 40,000,000 | R3.6 | R4.3 | 【支給件数】 30事業者、22,671件販売 | 宿泊プラン21,146件、日帰りプラン1,525件、計22,671件の割引プランを販売することができ、落ち込んだ観光需要の回復に寄与することができた。 | 観光課 |
| 23 | 和歌山城公園管理事業（南別館） | 新型コロナウイルス感染症対策のため、わかやま歴史館にサーマルカメラを設置するもの。 | 67,650 | 67,650 | R3.6 | R3.9 | 【購入物品】 サーマルカメラ 1台 | 非接触で入館者の体温を検温し、高熱を感知した方には入館を控えるよう呼びかけることにより、感染症対策を図ることができた。 | 和歌山城整備企画課 |
| 24 | 貴志川線利用環境革新等事業 | コロナ後の需要回復を見据えて、改装車両の導入やWi-fi設備等の乗客受入環境の整備に要する費用の一部を補助するもの。 | 6,808,000 | 6,808,000 | R3.8 | R4.3 | 【支給件数】 1件 | 事業者が実施するアフターコロナを見据えた乗客受入環境整備に要する費用に対し、支援することで列車乗車への需要を推進することができた。 | 交通政策課 |

| No. | 事業名 | 事業概要 | 総事業費 | 臨時交付金充当額 | 事業始期 | 事業終期 | 実績 | 効果 | 担当課 |
|-----|------------------------|---|------------|------------|-------|-------|--|---|---------------|
| 25 | 地域公共交通活性化・継続事業（和歌山電鉄） | 利用者が減少しているものの、減便による車内密度の上昇を防ぐため、便数を維持して運行を継続するための経費及び業務効率化に資するデジタル投資に要する費用の一部を補助するもの。 | 1,406,000 | 1,406,000 | R3.8 | R4.1 | 【支給件数】 1件 | 事業者が実施する公共交通のデジタル化・システム化に要する費用に対し、支援することで、地域公共交通事業の活性化及び継続を図った。 | 交通政策課 |
| 26 | 地域公共交通活性化・継続事業（和歌山バス） | バス事業者が実施する空気清浄機設置等の感染症対策に要する費用の一部を補助するもの。 | 1,857,000 | 1,857,000 | R4.3 | R4.3 | 【支給件数】 1件 | バス事業者が実施する感染症対策への環境整備に要する費用に対し、一部補助することで感染症対策の強化を図ることができた。 | 交通政策課 |
| 27 | 学校運営事業（空調整備） | 新型コロナウイルス感染症対策のため、市立和歌山高等学校の空調を整備するもの。 | 8,520,050 | 8,520,050 | R3.7 | R4.2 | 【整備実績】 4か所 | 空調機を整備したことにより、換気しながら室内を適温に保つことができ、感染拡大防止策の強化を図ることができた。 | 市立和歌山高等学校 |
| 28 | 図書館管理運営事業（感染防止対策物品の購入） | 新型コロナウイルス感染症対策のため、市民図書館にアクリル板、サーマルカメラ及び消毒液スタンドを導入するもの。 | 2,432,672 | 2,004,000 | R3.7 | R4.3 | 【購入物品】 アクリル板 一式 サーマルカメラ 6台 消毒液スタンド 6台 | 来館者に安心して利用してもらうことができ、令和2年度と比べ来館者数、利用者数、貸出冊数が増加した。 | 読書活動推進課 |
| 29 | こども科学館管理事業 | 新型コロナウイルス感染症対策のため、こども科学館にサーマルカメラを設置する。また、密を避けて説明を行うためのハンズフリー拡声器を購入するもの。 | 78,870 | 78,870 | R3.4 | R4.12 | 【購入物品】 サーマルカメラ 1台 拡声器 1台 | 感染拡大防止策の強化を図ることができた。 | 学校教育課（こども科学館） |
| 30 | コミュニティセンターWi-Fi整備事業 | コロナ禍においても密を避けて生涯学習を推進していくため、各コミュニティセンターにWi-Fi環境を整備するもの。 | 14,528,333 | 14,528,333 | R3.12 | R4.3 | 【整備実績】 7か所 | コミュニティセンターにWi-Fi環境を整備することで、オンラインを活用した講座や教室が可能となり、感染症対策につながった。 | 生涯学習課 |
| 31 | コミュニティセンター管理運営事業 | 新型コロナウイルス感染症対策のため、各コミュニティセンターにサーマルカメラを設置するもの。 | 473,550 | 473,550 | R3.6 | R3.9 | 【購入物品】 サーマルカメラ 7台 | 利用者自身が発熱などがないか自身の体調を把握することで、施設内での感染予防につながった。 | 生涯学習課 |
| 32 | 保育対策総合支援事業費補助金 | 市立児童館において、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための物品の購入等を行うもの。 | 300,000 | 150,000 | R3.4 | R4.2 | 【購入物品】 児童館8館において、手指消毒液、マスク等の衛生用品を購入 | 児童館において、新型コロナウイルス感染症に対する強い体制を整え、感染対策の徹底を図り、業務を継続的に実施することができた。 | 子育て支援課 |
| 33 | 保育対策総合支援事業費補助金 | 私立保育所等において、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための物品購入費や職員が感染対策の徹底を図りながら保育を継続していくための必要な経費に対して補助するもの。 | 26,864,593 | 13,440,593 | R3.4 | R4.5 | 【支給件数】 私立保育所 17園、私立認定こども園 23園、認可外保育施設 23園 計 63園 | 保育所等において、新型コロナウイルス感染症に対する強い体制を整え、感染対策の徹底を図り、業務を継続的に実施することができた。 | 保育こども園課 |

| No. | 事業名 | 事業概要 | 総事業費 | 臨時交付金充当額 | 事業始期 | 事業終期 | 実績 | 効果 | 担当課 |
|-----|-------------------------------------|---|-------------|-------------|-------|------|--|---|-----------|
| 34 | 保育対策総合支援事業費補助金 | 公立保育所等において、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための物品の購入等を行うもの。 | 7,542,417 | 3,782,417 | R3.4 | R4.3 | 【購入物品】 公立保育所14園、公立認定こども園2園において、手指消毒液、マスク等の衛生用品や、アクリルガード等の感染防止物品を購入 | 保育所等において、新型コロナウイルス感染症に対する強い体制を整え、感染対策の徹底を図り、業務を継続的に実施することができた。 | 保育こども園課 |
| 35 | 母子保健衛生費補助金 | 強い不安を抱えた妊婦や基礎疾患を有する妊婦等に対し、本人が希望する場合、分娩前にPCR検査を受けるための費用を負担するもの。 | 63,603,230 | 31,802,230 | R3.4 | R4.3 | 【支給件数】 3,484件 | 分娩を控え強い不安を抱えた妊婦の不安を和らげることができた。 | 地域保健課 |
| 36 | ハッピーウエディング事業（新型コロナウイルス感染症対策結婚支援）補助金 | 新型コロナウイルス感染症の影響による経済的負担が増大する中で、結婚に伴う新生活に係る経費を補助するもの。 | 8,154,000 | 8,154,000 | R3.10 | R4.3 | 【支給件数】 55件 | コロナ下において、結婚新生活を送る夫婦に対して、新生活に係る経費を最大30万円まで支援することで経済的負担の軽減に寄与した。 | 子育て支援課 |
| 37 | 児童館管理運営事業 | 新型コロナウイルス感染症対策として、感染予防に最も重要な換気を十分にしながらも最低限の適正温度を維持しつつ、コロナ禍においても安心して児童館を利用してもらえよう、空調設備を更新し、機能強化を図るもの。 | 1,108,360 | 1,108,360 | R3.8 | R4.2 | 【更新実績】 1か所 | 空調設備を更新し、機能強化を図ったことにより、換気を十分にしながら室内を適温に保つことができるようになり、感染拡大防止策を行うことができた。 | 子育て支援課 |
| 38 | 保健所施設整備事業 | 感染症対策本部の業務を停滞させることなく、円滑に運営を行えるようにし、市民の安全性等を確保するため、保健所のエレベーターや空調機の更新により換気機能を強化するとともに、トイレ洋式化等の整備を行う。また、接触者相談センターへの電話設置・移設を行い、コールセンター機能の強化を図るもの。 | 36,138,300 | 36,138,300 | R3.6 | R4.3 | 【改修実績】 26か所 | 来所した市民や問い合わせがあった市民に対し、感染症のリスクや不安の解消につなげることができた。 | 総務企画課 |
| 39 | 和歌山市事業者支援金給付事業 | 新型コロナウイルス感染症の影響により売上が一定割合減少している市内事業者に対し、事業継続のための支援金を給付するもの。 | 686,414,854 | 686,414,854 | R3.9 | R4.3 | 【支給件数】 3,759件 | 売上が減少した事業者を支援したことにより、市内事業の事業継続を図ることができた。 | 産業政策課 |
| 40 | 和歌山城関連施設新型コロナウイルス感染拡大予防事業 | 和歌山城公園内の天守閣や動物園等の各施設の混雑状況、予約状況の見える化及び公園内の主要な場所に来園者が密にならないよう分散した休憩スポットを提供するもの。 | 2,867,535 | 2,867,535 | R3.9 | R4.3 | システム開発委託料 495,000円 【購入物品】 パイプ TENT 12台 タブレット型パソコン 5台 タブレット型パソコン用フィルム、ケース | 混雑状況・予約状況を見える化したことにより、来園する観光客の安全安心を確保することができた。また、TENTを設置したことにより分散した休憩スポットを提供することができた。 | 和歌山城整備企画課 |

| No. | 事業名 | 事業概要 | 総事業費 | 臨時交付金充当額 | 事業始期 | 事業終期 | 実績 | 効果 | 担当課 |
|-----|----------------------|---|------------|------------|-------|------|---|--|-------|
| 41 | 庁舎管理事業（議場の感染対策） | 議場における感染防止対策として、ウイルス抑制・除菌用UV照射器の設置等を行うもの。 | 3,975,400 | 3,975,400 | R3.11 | R4.2 | 整備工事請負費 3,975,400円 | 議場における感染拡大防止策の強化を図ることができた | 管財課 |
| 42 | 路線バス利用実態調査事業 | 路線バスの利用状況や利用者の行動態様等、ICカード決済で蓄積されたデータを活用し、新型コロナウイルス感染症の影響による需要や利用実態に応じた運行頻度の見直しや路線再編も含めた検討を行うための調査を実施するもの。 | 3,245,000 | 3,245,000 | R3.12 | R4.3 | 業務委託料 3,245,000円 | 新型コロナウイルス感染症の影響による需要や利用状況を調査でき、バス路線の運行頻度や路線再編等を含む見直しの一助となった。 | 交通政策課 |
| 43 | 地域公共交通運行継続奨励金事業 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、深刻な打撃を受けている市内公共交通機関の運行継続を支援するため、乗合・貸切バス事業者、地域鉄道事業者、フェリー事業者を対象に奨励金を交付するもの。 | 21,400,000 | 21,400,000 | R3.11 | R4.3 | 【支給件数】 9件 | 市内交通事業者が運行継続するための一助となり、本市における住民の移動手段の維持及び確保を図ることができた。 | 交通政策課 |
| 44 | 救急高度化等推進整備事業 | 救急業務に関わる職員及び救急搬送者の感染症対策のため、自動心臓マッサージシステム及びオゾン発生装置等を購入するもの。 | 50,663,536 | 50,663,536 | R3.9 | R4.1 | 【購入物品】 エタノール消毒液 440本 人工鼻フィルター 400個 自動心臓マッサージシステム 14台 オゾンガス発生装置 8台 | ・救急隊員及び救急患者に対する感染予防対策として、エタノールによる救急資器材消毒、オゾンガス発生装置による救急車内消毒が適切に行われている。 ・救急隊員が人工呼吸を行う際に人工鼻フィルターを使用することでエアロゾルによる感染防止対策が取られている。 ・心肺停止傷病者に対する胸骨圧迫に自動心臓マッサージシステムを活用することで、救急隊員の感染防止対策及び胸骨圧迫の中断が最小限になる効果的な救急活動が実現できている。 | 警防課 |
| 45 | ペダル付き原動機付（電動）自転車導入事業 | 脱炭素社会への移行を促進するとともに、職員の移動時の密を回避しつつ中長距離の移動を可能にするため、ペダル付き原動機付（電動）自転車を導入するもの。 | 1,263,819 | 1,263,819 | R4.1 | R4.3 | 【購入物品】 ペダル付き原動機付（電動）自転車 5台 | 職員の移動時の密を回避することができ、感染症対策を図ることができた。 | 総務課 |
| 46 | 学校ICT環境設備整備事業 | 小中学生が活用しているGIGAスクールタブレットについて、分散登校等に伴うオンライン学習のために家庭へ持ち帰る際に使用する保護ケースを購入する。また、オンライン授業等に対応するため、各学級にGIGAスクール端末を整備するもの。 | 32,854,975 | 32,854,975 | R3.11 | R4.3 | 【購入物品】 PCインナーケース 24672個 ハイフレックス授業に対応する教室用コンピュータ 394台 | ケースの導入により持ち帰り時の破損の心配が減り、安全に持ち帰りやすくなったことで家庭でのタブレット端末の使用が促進された。 また、中学校の教室にハイフレックス授業に対応するコンピュータを整備したことにより、出席できない生徒がオンラインでの授業に参加しやすくなった。 | 教育研究所 |

| No. | 事業名 | 事業概要 | 総事業費 | 臨時交付金充当額 | 事業始期 | 事業終期 | 実績 | 効果 | 担当課 |
|-----|------------------|--|------------|------------|-------|------|---|--|------------------|
| 47 | 外国籍児童等受入対策事業 | 分散登校やマスク着用による授業等によって影響を受けている、日本語がうまく話することができず不安を抱えている帰国子女や外国籍等の児童・生徒に対して、日本語指導員による支援を行うもの。 | 267,750 | 267,750 | R3.4 | R4.3 | 【日本語指導員雇用実績】 15人 | 日本語支援を要する児童・生徒全員に支援を行うことができ、授業理解や集団適応の向上につながった。 | 学校支援課（子ども支援センター） |
| 48 | 学校給食管理運営事業 | 調理作業の各工程において調理員同士の密接・密集を回避することで感染リスクを低減するため、給食調理業務に関わる給食調理員が使用する移動式作業台や運搬車を購入するもの。 | 5,903,810 | 5,903,810 | R3.12 | R4.3 | 【購入物品】 移動式作業台 111台 運搬車 9台 | 調理作業の各工程において調理員同士の密接・密集を回避することで感染リスクを低減することができた。 | 保健給食管理課 |
| 49 | 学校図書充実事業（小学校） | 新型コロナウイルス感染症の拡大・長期化に伴い、臨時休校や分散登校、外出自粛等によるステイホーム時間が増加・長期化する中、読書環境を充実させ、児童の自宅学習の時間をより豊かなものにするため、学校図書を購入するもの。 | 97,000,000 | 97,000,000 | R3.9 | R4.3 | 【購入物品】 学校図書 52,087冊 | 新型コロナウイルス感染症の拡大及び長期化のため増加していた家庭学習時間の充実を図ることができた。 | 教育政策課 |
| 50 | 学校図書充実事業（中学校） | 新型コロナウイルス感染症の拡大・長期化に伴い、臨時休校や分散登校、外出自粛等によるステイホーム時間が増加・長期化する中、読書環境を充実させ、生徒の自宅学習の時間をより豊かなものにするため、学校図書を購入するもの。 | 38,000,000 | 38,000,000 | R3.9 | R4.3 | 【購入物品】 学校図書 19,460冊 | 新型コロナウイルス感染症の拡大及び長期化のため増加していた家庭学習時間の充実を図ることができた。 | 教育政策課 |
| 51 | 地区集会所管理事業 | 公共施設の新型コロナウイルス感染症対策として、感染予防に最も重要な換気を十分に行いながらも最低限の適正温度を維持しつつ、コロナ禍においても安心して地区集会所を利用してもらえるよう、空調設備を更新し、機能強化を図る。また、窓の開放により十分な換気を行えるよう、網戸の整備を行うもの。 | 1,542,354 | 1,542,354 | R3.6 | R4.1 | 【空調改修実績】 地区集会所2施設（3基） 【購入物品】 地区集会所3施設（網戸19枚） | 空調設備を更新したことで、換気しながら室内を適温に保つことができた。また、換気のための網戸を設置することで、虫などの侵入を防ぎつつ効果的に換気を行えるようになった。以上により、感染症対策の強化や感染リスクを軽減することができた。 | 生涯学習課 |
| 52 | コミュニティセンター管理運営事業 | 公共施設の新型コロナウイルス感染症対策として、コミュニティセンターの手洗い場を自動水栓化するもの。 | 880,000 | 880,000 | R3.10 | R4.1 | 【改修実績】 2施設（18か所） | 蛇口に触れることなく手洗いができるようになったことで、接触による感染リスクを軽減することができた。 | 生涯学習課 |

| No. | 事業名 | 事業概要 | 総事業費 | 臨時交付金充当額 | 事業始期 | 事業終期 | 実績 | 効果 | 担当課 |
|-----|----------------|---|-------------|------------|-------|------|--|---|-----------|
| 53 | 地方創生テレワーク交付金 | 3密を回避するとともに、地方への新しい人の流れを創出するため、市内の空き店舗等を活用し、他者に対してサテライトオフィス等として提供する施設を整備し、その管理・運営を行う事業者に対して、整備に係る経費を補助する。また、当該施設に県外から進出した事業者に対し、支援金を給付するもの。 | 115,363,000 | 57,681,500 | R3.4 | R4.7 | 【支給件数】 3件 | 市内の空き店舗等を活用し、サテライトオフィスを整備したことで、都市部から本市に進出する企業が入居するオフィスとして活用することができた。 | 産業政策課 |
| 54 | 教育支援体制整備事業費交付金 | 新型コロナウイルス感染症対策のため、幼稚園で使用する消毒液等の衛生用品を購入するもの。 | 5,500,000 | 2,750,000 | R3.6 | R4.3 | 【購入物品】 消毒液、ティッシュ、ウエットティッシュ、パーテーション、液体石鹸等の衛生用品 | 新型コロナウイルス感染症拡大の防止を図る視点から、ウエットティッシュや消毒液等の消耗品を購入し、感染症対策の徹底を図ることができた。 | 教育政策課 |
| 55 | 避難行動要支援者登録事業 | 災害時において、避難行動要支援者の感染防止のために必要な配慮が行えるよう、個別避難計画の策定を推進するためのシステム改修を行うもの。 | 5,225,000 | 5,225,000 | R4.1 | R4.3 | システム改修料 5,225,000円 | 洪水、津波、土砂災害、内水氾濫の各災害ごとに危険対象地域に居住する対象者を抽出し、新型コロナウイルス感染症が拡大する中で、名簿登録者の予定避難場所を確認し、感染拡大防止策の強化を図る事ができた。 | 高齢者・地域福祉課 |
| 56 | ふれ愛センター管理運営事業 | 不特定多数の方が利用する公共施設の新型コロナウイルス感染症対策として、感染予防に最も重要な換気を十分に行いながらも最低限の適正温度を維持し、コロナ禍においても安心して会議室を利用してもらえるよう、空調設備を更新し、機能強化を図るもの。 | 18,898,000 | 18,898,000 | R3.12 | R4.3 | 【改修実績】 1か所 | 改修を行い、換気を十分に行いながらも適正温度を維持できるようになったことで、新型コロナウイルスの感染症対策を強化するとともに、安心して会議室を利用してもらえるようになった。 | 障害者支援課 |
| 57 | 共同浴場運営事業 | 新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う利用者の減少及び燃料費高騰のため、市立共同浴場2か所に対し、運営費を追加交付するもの。 | 2,000,000 | 2,000,000 | R3.4 | R4.3 | 【支給件数】 2か所 | 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う利用者減少及び燃料費高騰の影響による経営支援を行うことができた。 | 保険総務課 |
| 58 | PCR検査体制整備事業 | 新型コロナウイルス検査等に使用する遺伝子抽出装置を更新し、検査体制を強化するもの。 | 2,750,000 | 2,750,000 | R3.12 | R4.3 | 遺伝子抽出装置更新料 2,750,000円 | 新型コロナウイルス感染症PCR検査を迅速かつ正確に実施することにより、感染の早期発見及びクラスター発生時の感染拡大の抑制に寄与することができた。 | 衛生研究所 |

| No. | 事業名 | 事業概要 | 総事業費 | 臨時交付金充当額 | 事業始期 | 事業終期 | 実績 | 効果 | 担当課 |
|-----|-----------------|--|------------|------------|-------|------|--|--|-----------------|
| 59 | 貴志川線設備修繕補助事業 | 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている貴志川線の安全な運行継続を図るため、設備修繕に係る費用に対し補助金を交付するもの。 | 28,395,265 | 28,395,265 | R4.1 | R4.3 | 【支給件数】 1件 | 貴志川線が安全に運行継続を図るための一助となり、利用者や沿線住民の移動手段の維持及び確保することができた。 | 交通政策課 |
| 60 | 地域バス運営補助事業 | 新型コロナウイルス感染症の影響で、利用者が減少している紀三井寺団地地域バスの運行継続を支援するため、奨励金を交付するもの。 | 400,000 | 400,000 | R3.4 | R4.3 | 【支給件数】 1件 紀三井寺団地地域バス運営協議会 | 運行経費の一助となることから、地域バスの減便を抑制し、地域住民の移動手段の維持及び確保を図ることができた。 | 交通政策課 |
| 61 | 修学旅行費補助事業 | 修学旅行の延期に伴い発生する取消料の経費を補償し、保護者負担の軽減を図るもの。 | 525,494 | 525,494 | R3.12 | R4.1 | 【支給件数】 中学校 2校 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、修学旅行等の延期に伴い発生する取消料等の経費を補償し、保護者負担の軽減を図ることができた。 | 学校支援課 |
| 62 | 学校保健特別対策事業費補助金 | 新型コロナウイルス感染症対策のため、小学校・中学校・高等学校で使用する消毒液等の衛生用品を購入するもの。 | 10,100,000 | 5,050,000 | R3.12 | R4.3 | 【小学校】 7,050,000円 【中学校】 2,750,000円 【高等学校】 300,000円 | 補助金で消毒液や石けんなどの衛生用品を購入することで、学校の感染症対策に役立ち、各学校の運営に貢献できた。 | 教育政策課 |
| 63 | 中学校維持管理事業 | 新型コロナウイルス感染症対策のため、換気を行いながら空調を稼働するために追加的に発生する費用を対象とするもの。 | 1,526,000 | 1,526,000 | R3.6 | R4.3 | LPガス 1,526,000円 | 教室で換気を行いながら授業を実施することで、感染拡大を防止することができた。 | 教育政策課 |
| 64 | 幼稚園維持管理事業 | 新型コロナウイルス感染症対策のため、幼稚園職員がオンライン研修を受けるためのパソコンを整備するもの。 | 4,171,090 | 4,171,090 | R3.12 | R4.3 | 【購入物品】 パソコン 29台 設定手数料 429,220円 ソフト借上料 41,470円 | 幼稚園職員がオンライン研修、会議等に参加することが可能となり、感染予防対策を実施しつつ、教育の質の向上や園務改善を図ることができた。 | 教育政策課 |
| 65 | 抗原検査キット購入事業 | 登校後に発熱等の風邪症状が見られ、直ちに医療機関を受診できない場合に、小中高등학교で抗原簡易キットによる検査が実施できるよう備えるもの。 | 1,320,000 | 1,320,000 | R3.8 | R3.8 | 【購入物品】 抗原簡易キット 【小学校】109箱 【中学校】37箱 【高等学校】4箱 | 抗原検査キットを購入することで、学校内において新型コロナウイルス感染症の感染が疑われる事態が発生した場合に即座に対応できる体制を整えることができた。 | 教育政策課・市立和歌山高等学校 |
| 66 | 乳幼児健康診査（1歳6か月児） | 1歳6か月児の乳幼児健康診査を実施する際、対象児等が密にならないように回数を増やす等の対策を行うもの。 | 2,127,000 | 2,127,000 | R3.4 | R4.3 | 【実施件数】 24回 | 1歳6か月児の健康診査の回数を増やすことで、3密を回避する等感染症対策を実施することができた。 | 地域保健課 |
| 67 | 乳幼児健康診査（3歳児） | 3歳児の乳幼児健康診査を実施する際、対象児等が密にならないように回数を増やす等の対策を行うもの。 | 4,770,000 | 4,770,000 | R3.4 | R4.3 | 【実施件数】 36回 | 3歳児の健康診査の回数を増やすことで、3密を回避する等感染症対策を実施することができた。 | 地域保健課 |

| No. | 事業名 | 事業概要 | 総事業費 | 臨時交付金充当額 | 事業始期 | 事業終期 | 実績 | 効果 | 担当課 |
|-----|--------------|---|-------------|-------------|-------|------|-------------------------------------|---|-------------|
| 68 | 子育て世帯臨時特別給付金 | 高校生までの子供を養育している世帯に対して一人あたり10万円の給付金を支給する子育て世帯臨時特別給付金事業について、市独自施策として、所得制限により国の給付対象外となっている世帯等に対して給付金を支給するもの。 | 390,804,020 | 390,804,020 | R4.2 | R4.5 | 【支給件数】 2,246件 | 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた、すべての子育て世帯に対し、経済的に支援することができた。 | こども家庭課 |
| 69 | 福祉館運営事業 | 不特定多数の方が利用する公共施設の新型コロナウイルス感染症対策として、感染予防に最も重要な換気を十分に行いながらも最低限の適正温度を維持し、コロナ禍においても安心して福祉館を利用してもらえるよう、空調設備を更新し、機能強化を図るもの。 | 237,600 | 237,600 | R4.2 | R4.3 | 【整備実績】 1か所 | 空調設備を更新し、機能強化を図ったことにより、換気を十分に行いながら室内を適温に保つことができるようになり、感染拡大防止策を行うことができた。 | 高齢者・地域福祉課 |
| 70 | 小学校維持管理事業 | 新型コロナウイルス感染症対策として、集団生活における感染予防に最も重要な換気を十分に行いながらも最低限の適正温度を維持して教育活動を継続していけるよう、保健室等の空調設備を整備・更新するもの。 | 3,169,045 | 3,169,045 | R4.1 | R4.3 | 【整備実績】 小学校7校 | 空調機を整備・更新したことにより、換気を行いながら室内を適温に保つことができ、感染拡大防止策の強化を図ることができた。 | 教育政策課・教育施設課 |
| 71 | 中学校維持管理事業 | 新型コロナウイルス感染症対策として、集団生活における感染予防に最も重要な換気を十分に行いながらも最低限の適正温度を維持して教育活動を継続していけるよう、中学校の教室に空調設備を整備するもの。 | 1,408,847 | 1,408,847 | R4.1 | R4.3 | 【整備実績】 中学校2校 | 空調機を整備したことにより、換気を行いながら室内を適温に保つことができ、感染拡大防止策の強化を図ることができた。 | 教育政策課・教育施設課 |
| 72 | 幼稚園維持管理事業 | 新型コロナウイルス感染症対策のため、各幼稚園の園児用トイレの洋式化等を行い、衛生環境の改善を図るもの。 | 3,731,750 | 3,731,750 | R3.12 | R4.3 | 【整備実績】 幼稚園8園（10箇所） | 園舎のトイレについて、より感染リスクの低い洋式便器へ改修し、感染拡大防止策の強化を図ることができた。 | 教育施設課 |
| 73 | 初期救急医療体制支援事業 | 救急医療体制の維持を図り、市民の暮らしの安心を支えるため、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により受診者が激減し、診療報酬が想定を下回ることとなった夜間・休日応急診療センターの運営費の不足分について、追加交付するもの。 | 9,500,000 | 9,500,000 | R4.2 | R4.3 | 【支給金額】 応急診療センター交付金 9,500,000円 | 夜間・休日応急診療センターが安定・持続的に運営することができ、市民の不安解消につながることができた。 | 総務企画課 |

| No. | 事業名 | 事業概要 | 総事業費 | 臨時交付金充当額 | 事業始期 | 事業終期 | 実績 | 効果 | 担当課 |
|-----|----------------------------|--|------------|------------|-------|------|---|--|-----------------|
| 74 | 疾病予防対策事業費等補助金 | ロタウイルスの予防接種の情報を現行システムに追加登録し、マイナンバーとの連携を図るため、予防接種システムの改修を行うもの。 | 381,000 | 127,000 | R3.6 | R3.9 | システム改修料 381,000円 | 予防接種記録に関する特定個人情報を迅速かつ正確に授受することができた。 | 保健対策課 |
| 75 | 疾病予防対策事業費等補助金 | 健（検）診の情報について、マイナンバー制度を活用し、マイナポータルでの閲覧や市町村間での情報連携を開始するため、自治体中間サーバに情報を登録するにあたり必要なシステムを整備するもの。 | 8,347,000 | 1,929,000 | R3.10 | R4.3 | システム改修料 8,347,000円 | システム改修によりがん検診の迅速化ができた。 | 地域保健課 |
| 76 | 障害者総合支援事業費補助金 | 新型コロナウイルス感染症の影響による発注の減少等に伴い、生産活動が停滞している就労系障害福祉サービス事業所に対し、感染防止対策の強化等を通じて、事業所の生産活動が拡大するよう支援するもの。 | 588,000 | 196,000 | R3.4 | R4.3 | 【支給件数】 就労系障害福祉サービス事業所 3件 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、生産活動が停滞している事業所に対して補助することで、事業所の生産活動の拡大を支援することができた。 | 障害者支援課 |
| 77 | 学校保健特別対策事業費補助金 | 児童生徒の安心安全な学習環境を確保しつつ教育活動を着実に継続するため、感染症対策、児童生徒の学びの保障をするもの。 | 91,350,000 | 45,675,000 | R4.4 | R5.3 | 【小学校】 61,650,000円 【中学校】 24,300,000円 【義務教育学校（前期・後期）】 2,700,000円 【高等学校】 2,700,000円 | 感染防止物品等の活用により、感染拡大防止策を徹底しながら、学校教育活動を安全に実施することができた。 | 教育政策課・市立和歌山高等学校 |
| 78 | 学校給食管理運営事業 | 新型コロナウイルス感染症の影響により学校給食の食数に変動が生じた場合における保護者の負担軽減を図るもの。 | 2,343,921 | 2,343,921 | R4.2 | R4.3 | 【支給件数】 小学校 71件 中学校 16件 | 新型コロナウイルス感染症の影響による学級閉鎖等で生じた給食のキャンセルに係る給食費を交付することで、保護者負担の軽減を図ることができた。 | 保健給食管理課 |
| 79 | 地域公共交通活性化・継続事業（和歌山バス・実証運行） | 利用者が減少しているものの、減便による車内密度の上昇を防ぐため、便数を維持して運行を継続するバス事業者に対して、運行継続のための経費の一部を補助するもの。 | 8,447,000 | 8,447,000 | R4.3 | R4.3 | 【支給件数】 1件 | 運行経費の一助となることから、路線バスの減便を抑制し、車内の密集・密接を軽減することができた。 | 交通政策課 |
| 80 | コロナ感染予防対策事業（非常勤職員） | 感染症担当部局に非常勤職員の応援支援を行い、保健師等が技術的な業務に専念できるよう体制を整備するもの。 | 10,770,287 | 10,770,287 | R3.4 | R4.3 | 【会計年度任用職員雇用実績】 6人 | 非常勤職員の応援支援により、保健師等が技術的な業務に専念する体制を整えることができた。 | 総務企画課 |

| No. | 事業名 | 事業概要 | 総事業費 | 臨時交付金充当額 | 事業始期 | 事業終期 | 実績 | 効果 | 担当課 |
|-----|------------------------|---|-----------|-----------|------|------|-------------------|---|-------|
| 81 | 健康危機対策事業（自宅療養患者への調剤対応） | 自宅療養患者に対する自宅療養期間中のオンライン診療によって必要となる調剤及び配送業務について、土日祝も対応できるよう薬局に業務委託を行うもの。 | 2,774,000 | 2,774,000 | R4.1 | R4.3 | 【土日祝の実施件数】 46件 | 新型コロナウイルス感染症の自宅療養者に対し、必要な薬剤を配送することができた。 | 総務企画課 |

2,536,947,051 2,287,980,000